

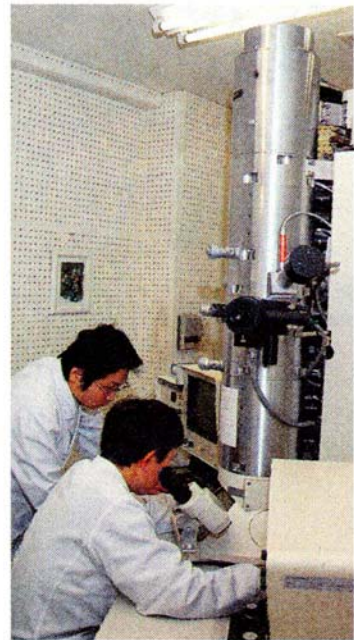
科学ももっと身近に

山陽新聞（朝刊）

平成18年4月24日（月）掲載

電子顕微鏡を開放

岡山大 医学部 高校理科教育に一役



学外開放が始まった透過型電子顕微鏡—岡山大学医学部共同実験室

高校の理科教育の一助に―と、岡山大学医学部（岡山市鹿田町）は二十三日までに、同学部共同実験室で、電子顕微鏡など研究機器の学外開放を始めた。

保有する約百台のうち約四十台が対象。透過型電子顕微鏡は、ヒトの細胞などを詳しく観察できる。必要に応じて観察したいサンプルを貸すほか、実験室でサンプル作成もできる。真空凍結乾燥機を使うと野菜や

果物をフリーズドライ化し、物質の状態の変化を理解するのに役立つという。ほかに遠心分離機や光度計など、一般の高校にはないものがほとんど。

機器の操作は、共同実験室のスタッフが指導。「科学への興味、関心を引き出すきっかけになれば」としている。

高校の教育目的以外に、他の研究機関の研究者も利用できる。利用料は機器別に定め、透過型電子顕微鏡が一時三万円など。問い合わせは共同実験室（086-2335-7472）。（臼杵正純）